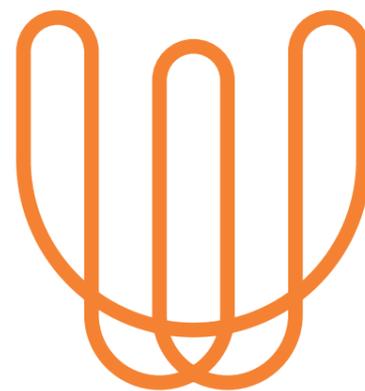


TAKE
FREE

農林水産省令和5年度
持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進

これからも楽しく、よりよく 花の仕事が続けていくために



well-blooming project

私たちにできることから
ひとつひとつ
花業界の皆で
よりよい未来のために
「ウェルブルームイング」
はじめませんか？



6月の「環境月間」に向けて いっしょに取り組んでくださる仲間を 大・大・大募集中です！

環境月間とは？

6月5日は「世界環境デー」
これを受けて日本では6月の1
カ月間を「環境月間」として全
国各地でさまざまな環境に関
する行事が行われています。

これから、花業界の皆様や、時に異業種の方々と共に、花業界の
“環境アクション”を推進していきます。毎年6月の「環境月間」や9月
の「SDGs週間」をきっかけに、活動の盛り上がりを創出していきます。
全国の一店一店の花店様、一社一社の企業様がそれぞれに、毎年
独自の“環境アクション”を宣言・実行し、その成果を年々積み上げ
ながら、花業界全体の大きなムーブメントに育てていきます。

エントリーいただくと…(2024年5月中旬～展開予定)

- ダウンロードツールのご提供
 - 店頭用POPの雛形データ ● well-blooming project ログデータ申請権など

● 店頭用ステッカー提供

● 半期毎の活動レポート共有

● 国産花き需要拡大推進協議会などの公式サイトに
参加花店名・企業名の掲載

など、順次充実させます

※受付は随時しております。
ふるってご参加ください！

<https://business.form-mailer.jp/fms/1be60ffd236705>

エントリーは
こちらから



Information

花初心者さん必見！ 『はじめて花屋』



#花のABCや #ビタミンFも!

<https://hajimetehanaya.jp/>



特設サイト『はじめて花屋』は、
はじめて花と暮らす人の不安や
疑問を解消するサイトです。「そ
もそも花屋さんでどうやって花を
買えばよいの？」の疑問にQ&A
でお答えする「花屋さんについて
みよう。」など、花初心者さんに
ぜひご紹介ください。



WEEKEND FLOWER

フラワーレシピ&
書籍『花と器の素敵な合わせ方』



季節の花90種類・約250パターンの12ヶ
月の「フラワーレシピ」を無料でダウンロード
していただけます。花のホームユース提案・
旬の花々の販促にお役立てください！



おかげさまで
多くのお客様
に届いて
います。



<https://weekendflower.jp/>

農林水産省令和5年度「持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進」

発行・制作:国産花き需要拡大推進協議会 監修・協力:カムフル株式会社、芽inc.

デザイン:oto イラスト:flowerery 印刷・製本:東京オフセット印刷(株) 発行日:2024年3月

【お問合せ先】国産花き需要拡大推進協議会(事務局:一般社団法人花の国日本協議会) info@hananokuni.jp

©2024国産花き需要拡大推進協議会 ※本冊子は花業界向けの内容となっております。一般消費者の皆様への閲覧や公開はご容赦ください。



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

Vol.1 今知っておきたい 環境のこと

世界の状況は？ 私たちにできることは？

Vol.2 #ビタミンFはまさに ウェルビーイング

今こそ花や植物の持つ驚きのチカラを伝えよう

花業界として今、
とくに重視したいのは
この目標！

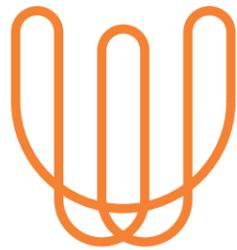
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を
支援しています

発行・制作：国産花き需要拡大推進協議会

自然も、人も、健やかに。



well-blooming project

well-blooming project は、
今も未来も、自然も人も
ウェルビーイングでサステナブルに
咲きつづけることを目指して、
花業界の皆で取り組むプロジェクト名です。

互いの垣根を越えて、花業界全体のために
皆で学び、共に考えながらチャレンジしていこう!という
新しいプロジェクトがはじまります。その名も
「well-blooming project」(ウェルブローミングプロジェクト)。

昨今、世界中で時代のキーワードとされる「Well-being」
(ウェルビーイング=心身が健康で社会的にも満たされた幸福な状態)と
「blooming」(ブローミング=花が咲く、咲き誇る)を掛け合わせた言葉。

自然の恵みを享受している花業界だからこそ
環境問題にもまっすぐ向き合いながら、
持続可能、かつ人々の幸せに貢献する存在であり続けたい……!
と願いをこめて、命名されました。

本プロジェクトでは、

01 使い捨てをできるだけせずに、
素材の見直しや資源の循環を目指す「環境のこと」

02 花や植物がウェルビーイングに
どのように寄与するかを探り・伝える「#ビタミンF」

当面この2大テーマに取り組んでいきたいと考えています。

例えば運送や資材などで花業界が日々お世話になっている業種の方々、
プラス、花店のお客様一人一人にもご理解・ご協力いただく必要があります。
いろいろ教えていただきながら、共に育てていく活動になります。

10年後20年後、次世代に誇れる花業界でいられるよう、
本冊子を見て、多くの方がプロジェクトの仲間になってくださったら嬉しいです。



01 環境のこと Sustainable

温暖化→沸騰化へ、石油資源は枯渇、 このままの社会はもう続けられない。 世界はとっくに動き始めている!

普段生活しているだけでも耳目に飛び込んでくる環境問題。
温暖化、資源の枯渇、さまざまな問題が待ったなしの状態に突入するなか、
世界は、そして日本社会と意識ある企業はすでに歩み出しています。

世界のうごき 持続可能な 開発目標「SDGs」 (Sustainable Development Goals)

SDGsは国連が提唱する未来のために世界全体ですべきことで、
2016~2030年の15年間を対象とした17の目標。なかでも特に日本
が遅れているのが下記5つ。



国連気候変動枠組条約(UNFCCC)のサイモン・スティル事務局長は、「地球を救うには(今後2年の取り組みが)必須となると指摘。『新世代の国家気候変動計画を通じて温室効果ガス排出を大幅に削減できるチャンスはまだある。だが、さらに強力な計画が今必要だ』と述べた。」

出典:温暖化から地球救う猶予「あと2年」、国連高官が対策強化訴え。ロイター。2024-04-11.REUTERS。https://jp.reuters.com/world/environment/EC4D13P2NBNJLN4JVAACDS64AA-2024-04-11/(参照2024-04-28)

欧州や他業種では 環境を守るために もうかなり進んでいる! たとえば……

E U EUでは今後、過剰包装の禁止や、包装材のリサイクル・再利用を義務付ける規則案で政治合意、新たに導入する方向。使い捨てプラスチック包装材や衣料品の廃棄禁止など多岐にわたる規制を新たに導入する予定。大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会構造を是正し、「必要な分だけ」をつくり、買う社会への転換が求められる。

無印良品 無印良品ではプラスチック収納や化粧水PETボトル、衣類など、一部商品を対象に不要になった商品を店舗で回収し、原料・リサイクル商品として活用するリサイクル・リユース活動に取り組む。ウェブサイトにも詳細があり、消費者にもわかりやすい。

社会のうごき 使い捨てにNO! 循環型経済に移行

「大量生産・大量消費・大量廃棄」を基本とする従来の一方向型の「線形経済」ではなく、製品と資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小化した循環型で持続可能な経済活動「サーキュラー・エコノミー」へ移行中です。



出典:環境省「第2節 循環経済への移行」図2-2-1 サーキュラーエコノミー
https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r03/html/hj21010202.html

社会のうごき エコな商品を選びたい人も。 若い世代は 学校で学んでいる

世界の共通認識となった「4R(よんあーる)」など、今の若い世代は学校で習っていてもはや常識!大人世代にも花束のラッピングなど結果的にごみになってしまうものにモヤモヤしている人も……。



じゃあ花業界として どうやって環境に配慮したらよい？ なぜ取り組む？何からは始める？

環境問題が喫緊のこと、だとしたら花業界として取り組めることはどこにあるのだろう？
そしてなぜ取り組まないといけないのだろう？
現状から見えてきた「なぜ？」「何を」を考えてみました。

- なぜ？
- プラスチックは現在ごみになっている量が多い！けれどもリユース、リサイクルできる素材であること（一部向かないものもあり）。
 - リユース、リサイクルできればごみが減り、焼却によって出るCO₂も減り、結果として環境負荷が減る。
 - リユース、リサイクルによって大元となる資源の枯渇を食い止められる。（プラスチック製品の元となっている石油資源は地球が長い年月かけて生み出したものであり、木材などと違い短いスパンで再生できないもの。限りある資源を循環させることが一層肝心となってきます）

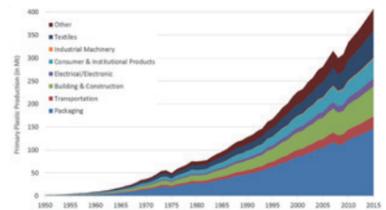
何から？

まず取り組みたい
大きな課題は
プラスチックを
減らすこと！

プラスチックを取り巻く“いま”

1 どんどん増え続ける プラスチックの生産量 このまいくと危険

大量生産・高速成形⇒安価なプラスチック製品はまだ生まれて100年程度と歴史は浅い。にもかかわらずものすごい勢いで生産され、2015年4億トン5%/年で増加予想⇒2050年16億トンにもなってしまうと予想され危機感が持たれている。



出典：Geyer, Jambeck, Law, Sci. Adv., 2017, 3, e1700782のfig.S1

2 世界のプラスチック 消費量増により 海洋汚染が深刻化

現在のプラスチックの世界でのリサイクル率は9%に過ぎず、現状のペースでは、2050年までに120億トン以上のプラスチックが埋立・自然投棄され、「海洋プラスチックごみの量が海にいる魚を上回る」とされている。海洋に流出したごみの回収は事実上不可能、取り返しがつかなくなる前に対策が必要。



3 日本のごみ最終処分場は あと17年しか保たない、 焼却するとCO₂排出に

1999年にはあと3年しか保たないとされていた産業廃棄物の最終処分場のキャパシティ。その後、循環利用の増加により、2017年にはあと17年に延命された。2022年には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（略称「プラスチック資源循環法」、別名「プラ新法」）が設けられ、さらに進んだ対策がとられるようになっていく。一方、消費者の手元で一般のごみとして焼却されるとCO₂が排出され、温暖化の一因に。処分してしまうことで資源の使い捨てになってしまうのも問題となっている。

環境問題の 専門家が 花業界を サポート！

実はこの「well-blooming project」（ウェルブローミングプロジェクト）の「環境のこと」については、環境のプロフェッショナルの方々力が貸してくださっています。

数々の企業や自治体などのSDGs・環境の活動支援に取り組まれている、環境カウンセラーの関根久仁子さんはじめ、環境のプロならではの目線、知識、情報力、経験、ネットワーク、そして環境課題解決への情熱を持った方々に学びながら、花業界もチャレンジしていきたいと考えています。

この先もずっと皆で「きれいなお花」を楽しめるよう、花の源である自然環境の負担になるごみを少しでも削減する必要があります。一歩ずつ、楽しく取り組んでいきましょう。

プラスチックのすべてが悪いというわけはありませんが、できるだけ使い捨てを止めて、何度でも使うリユース、リサイクルが推奨されます。資源を循環させることでCO₂削減につながります。まずはできることから少しずつ始めていくことが大事だと思います。

環境カウンセラー/
森林インストラクター
関根 久仁子さん

スターバックスで約12年間環境担当。コーヒー豆かすリサイクルループ等3R、環境配慮店舗、倫理的な調達、環境教育等を推進。企業や自治体などのSDGs・環境の活動支援に加え、FSC認証木材普及や自然再興活動等にも取り組む。サーキュラーエコノミー実践に向けて、2023年2月カムフル株式会社を創業。同年4月より一橋大学非常勤講師。



大阪大学
工学研究科 応用化学専攻
宇山 浩教授

バイオプラスチックの第一人者。大阪大学大学院工学研究科では「未来におけるプラスチックと人間の共生を考えるため」に「エコプラスチック研究会」を立ち上げるなど、子どもや一般に向けた情報発信や啓蒙活動も行う。

宇山先生の ちょこっとプラ講座

容器や商品でよく目にする「PE」「PP」「PET」といったアルファベット。プラ素材のことだとはわかるけれど、実際はどんなもの？
主な種類と特性、用途について、伺いました！

ポリエチレン (PE)	ポリプロピレン (PP)	PET、ポリスチレン (PS)
特性: 柔らかい、しなやか 主な用途: レジ袋、容器・タンク、フィルム・ラップ、ストローなど	特性: 高強度、高耐熱、柔らかい 主な用途: 食品保存容器、プランター、繊維など	特性: 硬い、透明 主な用途: 卵パック、PETボトル、コップ、発泡スチロールなど
		

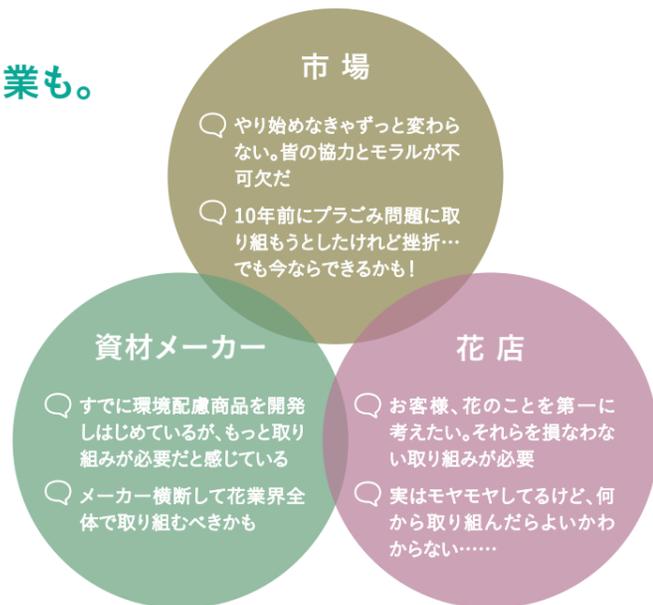
プラスチックのリサイクルには「同じ材質（単一素材）の収集が必要」なので、これらをきちんと分別することが肝心

花業界のプラスチック問題は？ 花店、花市場、資材メーカーへの ヒアリングで見えてきたこと

環境問題に高い関心を持っている、なんとなくだけれどどうにかしたいと思っているなどという声多数。なりた未来から考える「バックキャストिंग」という思考で、花業界の「こうありたい姿」を描いていければ。

すでにアクションを開始している企業も。 が、課題多く悩ましい現状が 浮き彫りに！

2023年、花市場、花店、資材メーカーなど20社を訪問しヒアリング。環境問題に関して高い関心と努力を重ねている様子が伺えました。反面、それでも解決できない課題が多く悩ましい現状も…。まったく手付かずの課題もあり、個々の企業だけでなく、花業界全体で環境問題に取り組む必要性を感じている、という声に多数触れました。



プラスチック周りのことを皆で考えていきたい

2023年11月、2024年2月に開催した「花エコラッピング研究会共創ワークショップ」。環境カウンセラーの関根さんがファシリテーターになり、資材メーカー各社、花店有志約30人が参加。自由な発想で「2027年の花ラッピングはどうなっているとよいか?」「何をどうやって解決したらよいか?」などをディスカッション&発表しました。



参考) 花資材サーキュラーデザインの実現に向けたステップ ~花エコラッピング研究会第1回WSより~



Step 1

0. 正しい知識、ゆくえまで学ぶ

1. やめる・減らす (家庭用)

2. 代替素材を検討 (ギフト用)

3. 社会実験から (回収~再資源化)

象徴的かつすぐ始められるプラ削減とお客様への啓発とムーブメント材料として、業界/サプライチェーン全体皆で取り組む

現場で見聞きした、花業界でごみになっているプラスチック製品

市場・花店で ごみになる プラスチックの例



お客様の手元で ごみになる プラスチックの例

一見紙に見える不織布はポリプロピレン (PP) 製のプラスチック素材。捨てる際はプラスチックに分別する

えっ?!
防水性があり使いやすいユポ紙やLIMEXは「合成紙」といわれるプラスチックの複合素材で、リサイクルができない

なんと!
防水タイプはプラスチック素材のポリエチレン (PE) 製が多い

見栄えよく便利だけれど、形状的にリサイクルには不向きなプラスチック

ラッピングペーパー

花束やアレンジメントの持ち帰り袋

セロハン (OPPフィルム)

リボン

ポリエステル、ナイロン、ポリプロピレン (PP) などはプラスチック製。一方、アセテート、レーヨン、コットンなどは自然由来素材

フローラルフォーム (吸水性スポンジ)

フェノール樹脂に発砲剤や硬化剤などを混ぜて作ったもの。リユースもリサイクルも困難。海洋プラスチック問題につながるマイクロプラスチック化も懸念

最近、再生ガラス、バイオマス素材や再生プラスチック素材のものも少しずつ増えている

プラスチック製の主流かつ、複合素材のものが多

プラスチック素材の花器

アクリルは製法が複雑でリサイクルが難しい素材

アクリルボックスなどケース類

ピック・オーナメントなど

ごみの60%は「容器」と「包装」。花屋さんからお客さまに渡るラッピング資材は、「容器包装リサイクル法」の対象アイテムです！

国土の狭い日本において廃棄物の最終処分場が逼迫する中、容器や包装にまつわる「ごみ」を「資源」へと甦らせるために、「容器包装リサイクル法」という法律があります。消費者、自治体、事業者すべての人々が相互に協力・連携し、持続可能な社会を目指します。

Check!



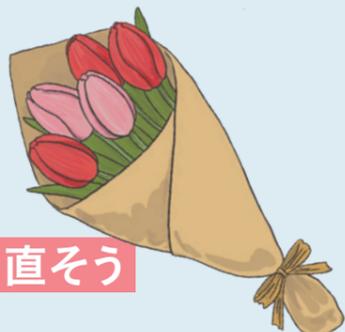
環境への対策についてそろそろ何かしなくちゃとは思いつつ、何をどこから始めたらよい…?! とモヤモヤしている花屋さんもきっと多いはず。環境対策は常にアップデートされていて理解が追いつかず、さらには環境=コスト増な印象ですが、少しずつできることから取り組みれば大丈夫。well-blooming project からの提案として、まずはじめに取り組みたいのは「お客様の手元でゴミになってしまうプラスチック」について。プラスチックは便利だし決して悪者ではないのだけれど、環境問題の視点に立つと、極力使用量を減らして、使い捨てではなくリユース・リサイクルしたい素材。ラッピング資材など身近なプラスチック製品を見直してみましょう。1~5をご参考に、できそうなことから始めてみて!

1

プラスチック製ラッピング資材・容器を

減らそう・なくそう・見直そう

- ラッピングのセロハンをできる限り減らす。
- ホームユースには、紙や自然素材に対応する。
- アレンジや鉢物の花器やリボンのプラ製を減らし、自然由来のアイテムに切り替えていく。
- バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用する。



まずはやってみよう!

花屋さんの環境アクション

ひとつひとつの花束から変えていく

well-blooming な未来へ

2

プラスチック製の資材やラッピングペーパーなど紙類の

分別や処分方法を

お客さまに伝えよう

自治体によってごみの分別方法が異なるのが悩ましいのですが…、いま一度、自店や商圏の自治体のホームページや問合せ窓口にごみの分別方法を確認してみるのもよいかも! 捨て方がよくわからないとされる「フローラルフォーム」のご家庭での分別や処分方法について、丁寧に説明するところから始めてもよいでしょう!

実はお客さまも気になっていた!? 花屋さんのラッピング

経年で実施している「花贈りに関する消費意識実態調査」(2024年3月/全国20代~40代の男女1099名対象)において、フラワーギフトの「ラッピング」について今回初めて尋ねてみた。ラッピングがあると華やかでうれしい、気持ちがよりいっそう伝わる、という肯定的意見が多数あるなか、「環境」を意識した回答も思った以上に、その声をピックアップしてお届け。

- (ラッピングの)あるなし選べるといい。(女性 40~44歳)
- ごみにならないような工夫があればもっと良いかなといつも感じます。(男性 40~44歳)
- 再利用できるものが良いと思う。(女性 20~24歳)
- 受け取る側がゴミの処分に困らない、簡素な包装が良いと思う。(女性 35~39歳)
- 地球環境に配慮してリサイクルできる物が増えてくるともっと気軽に利用できるようになると思う。(男性 40~44歳)



プラスチックに関する新法制定をきっかけに各自治体も環境への取り組みが急速に進んでいます。

「フローラルフォーム」の多くは現状、フェノール樹脂というリサイクル手段がないプラスチックでできていて、意識の高いイギリスやフランスなど欧州ではほとんど使用しない国も。フェノール樹脂に変わる新素材や新しい発想が求められています。

3

環境にやさしい選択や行動を

してくださったお客さまにインセンティブを

- 「Myバック」をご持参くださったお客さまや、ギフトでも「セロハンなしでOK」など簡易ラッピングを選んでもくださったお客さまに、お店からエコポイントを付与する。
- エコポイントの他に、環境保全活動をしている団体へ寄付をするなど、お客さまにも環境アクションにご参加いただく。
- 自宅用の花購入時には「Myペーパー」を持参していただくのもよいかも!



4

環境に配慮して生産されている花や地元産の花を販売しよう

プラスチックの使用削減が日頃からできている花屋さんは、販売する「花」に注目してみても! 環境に配慮して生産されている「MPS認証の花」や、輸送距離が短くCO2排出量の削減につながる地元産の花で「地産地消」を意識してみましょう。



環境に配慮して生産している「MPS認証の花」をご存知ですか?

「MPS」とは、人にも環境にも配慮した花き認証システムです。危険な農薬を使用せず、環境負荷の低減に取り組んでいることを、国際認証機関「MPS」より証明された生産者が作った花のことです。

MPS Sustainable Quality



「MPS認証の花」生産者情報は「最新の認証資格リスト」をご参照ください▶



Next Step

5

地域の花店・花市場と協力してプラスチック資材の回収や

リサイクル活動に参加しよう!

ワンウェイのプラスチックが次々と禁止されていく状況下、これから少しずつ、地域の花市場を拠点に、リサイクルのためのダルマや鉢トレーなどプラスチック資材のリサイクルの実証回収実験が始まります。もし身近でそのような取り組みがあったらぜひ参加してみてください! 皆で力をあわせて、資源を美しく循環させる花業界を目指しましょう。





#ビタミンFとは？

コロナ禍が始まってすぐ、2020年4月に実施したアンケート調査※によると、「以前に比べ、自宅に花やグリーンを飾りたい気持ちになった」と回答する人が90%に達するという、驚きの結果が出ました。実際、若年層を中心に自宅に花やグリーンを飾る人がとても増えたのです。なぜか？を紐解けば、「植物のちから」に思い至ります。この“植物のちから”を「#ビタミンF」(造語、flowerのF)と称し、お客様にわかりやすく伝えるツールを開発しました(画像右)。人間のメンタルヘルスに良い影響を及ぼす植物の効果効用について研究した国内外の様々な研究結果をもとに、家で過ごす時間を快適かつ健全に過ごすために、花やグリーンがいかに人間に必要不可欠な存在であるかをご紹介します。

※2020年4月、旬の花モニタープレゼント企画「Stay Home with FLOWERS おうちフラワーで私を元気に!」応募時アンケート/回答者(950名)



「フラワー(切り花)」「グリーン(観葉植物)」「ガーデニング(園芸)」「フラワーギフト」の4つをテーマに、それぞれの効果を解説。当時、全国の花店にこのポスターが貼られました。

<https://hajimetehanaya.jp/vitaminf/>



2020年8月に実施♪



全国500店のフラワーショップとアーティスト「スキマスイッチ」がコラボ、花と音楽のちからで元気を届けるキャンペーンを展開。コロナ禍で世間が暗い雰囲気の中、花と音楽のちからで、心が明るくなり、前向きな気持ちになることを実感できた!とお客様からも参加花店からも大反響でした。これからも「#ビタミンF」を体感できる異業種コラボを実施できたらと思います!

＼もっと花の魅力を伝えていくために、no+e はじめます!／ 「#ビタミンF」の価値を伝えるメディア



ウェルビーイングと花や植物の関係についてのあれこれを発信する花の国日本協議会の公式noteです。花や植物の驚きの効果＝「#ビタミンF」(flower)の魅力、科学的観点や実践者の観点で紐解いていきます。

note記事 第1弾



LiLiCoさん、幸福学研究の前野隆司さん対談

花を楽しむことがウェルビーイングの向上につながるのなぜ?【前編】 花は、自分のために買って人に贈っても幸せ。【後編】

花を部屋に飾ったり、贈りあったりすることで生まれるハッピーな感情に、覚えがある人も多いのでは?

今回、家に花を欠かさず飾っているという花を愛するLiLiCoさんと、日本における幸福学(well-being study)の第一人者である慶應義塾大学大学院・武蔵野大学教授の前野隆司さんの初対談が実現しました。

一部抜粋

- 前野隆司さん
- 感謝の気持ちや利他性が芽生え、やる気も出て自己肯定感が高まる。まさに、**幸福のためのいろいろな要素を花が網羅している**と言えます。
- LiLiCoさん
- **花は自分のメンタルのパロメーター**にもなる。
 - 花にはね、理由はいろいろな。**地球が私たちにくれた宝石**ですよ。「人間も同じように花を咲かせなさい」って教えるために地球に生まれてきてくれたのかもしれない。

note記事 第2弾

生態学者・曾我昌史さんに聞きました

野菜を摂るように、自然に触れよう 花や自然とウェルビーイングの関係

「自然体験は決して嗜好品じゃなくて必需品。自然を摂取した方が健康に良いんです」そう教えてくれたのは、東京大学准教授・生態学者の曾我昌史さん。自然に触れると、人間にどんないいことがあるのでしょうか。

一部抜粋

- **自己肯定感や、自尊心、QOLと自然体験がリンクしている**ことがわかってきているんです。
- 生き物に全く関心を払わない人よりも、関心を払っている気づく人の方が**リラックス効果が高い**という結果が出たんです。
- 僕はもう、**自然体験は野菜と同じようなもの**だと思うんですよ。**野菜を食べる習慣を意識する感じで、自然の“摂取”を習慣づけるのがいいんじゃないでしょうか。**



〈企画・編集〉南麻理江(湯気)
〈インタビュー・テキスト〉清藤千秋(湯気)
〈撮影〉丹野雄二(協力)芽inc.、一般社団法人花の国日本協議会